

事業主のみなさまへ

# 外国人雇用はルールを守って適正に

～雇入れ・離職の際の届出と適切な雇用管理は事業主の責務です～

## 雇用対策法（平成19年10月1日施行）

外国人が在留資格の範囲内で  
その能力を有効に発揮しながら適正に就労できるよう  
外国人雇用に関する基本ルールを整備

### 1. 雇用管理の改善等に関する指針

P2～5をご覧ください

事業主の方が遵守すべき法令や、努めるべき雇用管理の内容等を盛り込んだ指針を定めています。これに沿って、職場環境の改善や再就職の支援に取り組んでください。

### 2. 外国人雇用状況の届出

P6～7をご覧ください

外国人の雇入れ及び離職の際、その氏名、在留資格等を届け出てください。ハローワークでは、これに基づき、雇用環境の改善に向けて、事業主の方への助言・指導や、離職した外国人への再就職支援を効果的に行います。

### 3. 不法就労の防止

外国人雇用状況の届出に当たり、事業主の方が在留資格等を確認すること等により、不法就労の防止が図られます。



厚生労働省 都道府県労働局 公共職業安定所

# 1. 外国人労働者の雇用管理の改善等が事業主の努力義務として定められています

## 外国人が能力発揮できる適切な人事管理と就労環境を！

- 国籍で差別しない公平な採用選考を行いましょう。  
日本国籍でないこと、外国人であることのみを理由に、求人者が採用面接等の応募を拒否することは、公正な採用選考の観点から適切ではありません。
- 外国人を「安い労働力」として処遇しているとの実態が、一部で指摘されています。  
しかしながら、労働基準法や健康保険法などの労働関係法令及び社会保険関係法令は、国籍を問わず外国人にも日本人と等しく適用されます。また、労働条件面での国籍による差別も禁止されています。
- 外国人労働者に対して安易な解雇等を行わないようにするとともに、解雇等を行う場合には、再就職を希望する外国人労働者に対して、その在留資格に応じた再就職が可能となるよう、必要な援助に努めてください。
- また、留学生をはじめ「専門的・技術的分野」の外国人労働者は、企業の人事管理等の改善を図ることで、その就業を促進し、我が国企業の活性化・国際化を担う人材となることが期待されています。
- 「外国人労働者の雇用管理の改善等に関する事業主が適切に対処するための指針」は、改正雇用対策法に基づき、外国人の方々が我が国において安心して働き、社会に貢献していただくために、事業主の方々に講じていただくべき事項について整理したものです。  
事業主の方々におかれでは、本指針の趣旨に基づき、外国人労働者の雇用管理の改善等に向け、ご理解とご協力を願いいたします。

# 外国人労働者の雇用管理の改善等に関する事業主が適切に対処するための指針（抄）

- ※ 指針のうち雇用管理の改善等に関するポイントをまとめたものです  
(外国人雇用状況の届出については、P 6～7をご覧ください)。
- ※ 全文についてはホームページをご参考ください。<http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyou/gaikokujin.html>  
(厚生労働省トップページ→行政分野ごとの情報「雇用」→分野別施策紹介「外国人雇用対策」)

## ◆基本的考え方

事業主は外国人労働者について、

- ・ **労働関係法令及び社会保険関係法令を遵守**する。
- ・ 外国人労働者が適切な労働条件及び安全衛生の下、**在留資格の範囲内で能力を発揮**しつつ就労できるよう、この指針で定める事項について、適切な措置を講ずる。

## ◆外国人労働者の雇用管理の改善等に関する事業主が講すべき措置

### ●外国人労働者の募集及び採用の適正化

#### 1. 募集

募集に当たって、従事すべき業務内容・賃金、労働時間、就業場所、労働契約期間、労働・社会保険関係法令の適用に関する事項について、書面の交付又は電子メール（希望のあった場合に限る）により、明示すること。特に、外国人が国外に居住している場合は、事業主による渡航費用の負担、住居の確保等の募集条件の詳細について、あらかじめ明確にすること。

また、国外に居住する外国人労働者のあっせんを受ける場合には、許可又は届出のある職業紹介事業者から受けるものとし、**職業安定法又は労働者派遣法に違反する者からはあっせんを受けないこと。**

職業紹介事業者に対し求人の申込みを行うに当たり、**国籍による条件を付すなど差別的取扱いをしない**よう十分留意すること。

#### 2. 採用

採用に当たって、**あらかじめ、在留資格上、従事することが認められる者であることを確認**することとし、従事することが認められない者については、採用してはならないこと。

在留資格の範囲内で、外国人労働者がその有する能力を有効に発揮できるよう、**公平な採用選考**に努めること。

新規学卒者等を採用する際、留学生であることを理由として、その対象から除外することのないようになるとともに、異なる教育、文化等を背景とした発想が期待できる留学生の採用により、企業の活性化・国際化を図るために、**留学生向けの募集・採用を行うことも効果的**であることに留意すること。

### ●適正な労働条件の確保

#### 1. 均等待遇

労働者の**国籍を理由として、賃金、労働時間その他の労働条件について、差別的取扱いをしてはならない**こと。

#### 2. 労働条件の明示

外国人労働者との労働契約の締結に際し、**賃金、労働時間等主要な労働条件について、当該外国人労働者が理解できるようその内容を明らかにした書面を交付**すること。

### 3. 適正な労働時間の管理等

適正な労働時間の管理を行うほか、労働者名簿等の調製を行うこと。また、外国人労働者の旅券等を保管しないようにすること。また、退職の際には、当該労働者の権利に属する金品を返還すること。

### 4. 労働基準法等関係法令の周知

関係法令の定めるところによりその内容について周知を行うこと。その際には、分かりやすい説明書を用いる等外国人労働者の理解を促進するため必要な配慮をするよう努めること。

## ●安全性の確保

### 1. 安全衛生教育の実施

外国人労働者に対し安全衛生教育を実施するに当たっては、当該外国人労働者がその内容を理解できる方法により行うこと。特に、外国人労働者に使用させる機械設備、安全装置又は保護具の使用方法等が確実に理解されるよう留意すること。

### 2. 労働災害防止のための日本語教育等の実施

外国人労働者が労働災害防止のための指示等を理解することができるようするため、必要な日本語及び基本的な合図等を習得させよう努めること。

### 3. 労働災害防止に関する標識、掲示等

事業場内における労働災害防止に関する標識、掲示等について、図解等の方法を用いる等、外国人労働者がその内容を理解できる方法により行うよう努めること。また、労働安全衛生法等の定めるところにより健康診断を実施すること。

### 4. 労働安全衛生法等関係法令の周知

関係法令の定めるところによりその内容についてその周知を行うこと。その際には、分かりやすい説明書を用いる等外国人労働者の理解を促進するため必要な配慮をするよう努めること。

## ●雇用保険、労災保険、健康保険及び厚生年金保険の適用

### 1. 制度の周知及び必要な手続きの履行

雇用保険、労災保険、健康保険及び厚生年金保険に係る法令の内容及び保険給付に係る請求手続等について、周知に努めること。労働・社会保険に係る法令の定めるところに従い、被保険者に該当する外国人労働者に係る適用手続等必要な手続をとること。

### 2. 保険給付の請求等についての援助

外国人労働者が離職する場合には、離職票の交付等、必要な手続を行うとともに、失業等給付の受給に係る公共職業安定所の窓口の教示その他必要な援助を行うよう努めること。

労働災害等が発生した場合には、労災保険給付の請求その他の手続に関し、外国人労働者からの相談に応ずること、当該手続を代行することその他必要な援助を行うよう努めること。

厚生年金保険への加入期間が6ヶ月以上の外国人労働者が帰国する場合、帰国後に脱退一時金の支給を請求し得る旨を説明し、年金事務所等の関係機関の窓口を教示するよう努めること。

## ●適切な人事管理、教育訓練、福利厚生等

### 1. 適切な人事管理

職場で求められる資質、能力等の社員像の明確化、職場における円滑なコミュニケーションの前提となる条件の整備、評価・賃金決定、配置等の人事管理に関する運用の透明化等、**多様な人材が能力発揮しやすい環境の整備**に努めること。

### 2. 生活指導等

**日本語教育**及び日本の生活習慣、文化、風習、雇用慣行等について理解を深めるための指導を行うとともに、外国人労働者からの**生活上又は職業上の相談**に応じるように努めること。

### 3. 教育訓練の実施等

**教育訓練**の実施その他必要な措置を講ずるよう努めるとともに、**苦情・相談体制の整備、母国語での導入研修**の実施等働きやすい職場環境の整備に努めること。

### 4. 福利厚生施設

**適切な宿泊の施設**を確保するよう努めるとともに、給食、医療、教養、文化、体育、レクリエーション等の施設の利用について、十分な機会が保障されるよう努めること。

### 5. 帰国及び在留資格の変更等の援助

在留期間が満了する場合には、雇用関係を終了し、帰国のための手続の相談等を行うよう努めること。また、在留資格の変更等の際は、手続に当たっての勤務時間の配慮等を行うよう努めること。

### 6. 労働者派遣又は請負を行う事業主に係る留意事項

派遣元事業主は、労働者派遣法を遵守し、適正な事業運営を行うこと。

- 従事する業務内容、就業場所、当該外国人労働者を直接指揮命令する者に関する事項等、**派遣就業の具体的な内容の当該外国人労働者への明示**
  - 派遣先に対し派遣する外国人労働者の氏名、労働・社会保険の加入の有無の通知 等
- 派遣先は、**労働者派遣事業の許可又は届出のない者からは外国人労働者に係る労働者派遣を受けないこと**。さらに、請負を行う事業主にあっては、請負契約の名目で実質的に労働者供給事業又は労働者派遣事業を行わないよう、職業安定法及び労働者派遣法を遵守すること。
- 請負を行う事業主は、雇用する外国人労働者の就業場所が注文主である他事業主の事業所内である場合に、当該事業所内で、**雇用労務責任者等に人事管理、生活指導等の職務を行わせること**。

## ●解雇の予防及び再就職援助

事業規模の縮小等を行おうとするときは、外国人労働者に対して**安易な解雇等を行わない**ようにするとともに、やむを得ず解雇等を行う場合は、再就職を希望する者に対して、関連企業等へのあっせん、教育訓練等の実施・受講あっせん、求人情報の提供等当該外国人労働者の**在留資格に応じた再就職が可能となるよう、必要な援助を行う**ように努めること。

## ◆外国人労働者の雇用労務責任者の選任

外国人労働者を常時十人以上雇用するときは、この指針に定める雇用管理の改善等に関する事項等を管理させるため、**人事課長等を雇用労務責任者として選任**すること。

## 2. 外国人労働者の雇入れ及び離職の際に その氏名、在留資格等について ハローワークへの届出が必要です

### 届出の対象となる外国人の範囲

日本の国籍を有しない者で、在留資格「外交」「公用」以外の者。  
また、「特別永住者」は届出の対象にはなりません。

ハローワーク窓口への届出のほか、  
ハローワークインターネットサービスからの  
電子申請もご利用ください。

<https://gaikokujin.hellowork.go.jp/gkjgs/index.jsp>

### 届出事項及び届出方法

#### 雇用保険の被保険者である外国人の場合

##### ●届出事項

- ①氏名 ②在留資格 ③在留期限
- ④生年月日 ⑤性別 ⑥国籍
- ⑦資格外活動の許可の有無※
- ⑧雇入れに係る事業所の名称及び所在地 ※
- ⑨賃金その他の雇用状況に関する事項 ※
- ⑩住所 ※
- ⑪離職に係る事業所の名称及び所在地 ※

※⑦⑧については雇入れ時の届出事項

⑨⑩⑪については離職時の届出事項

##### ●届出方法

雇用保険被保険者資格取得（喪失）届の備考欄に、②在留資格、③在留期限、⑥国籍、⑦資格外活動許可の有無を記載して届け出ることができます。

##### ●届出先公共職業安定所

雇用保険の適用を受けている事業所を管轄する公共職業安定所。

(取得届又は喪失届を届け出る公共職業安定所と同様)

##### ●届出期限

雇入れの場合は翌月10日まで。

離職の場合は翌日から起算して10日以内。

(取得届又は喪失届の提出期限と同様)

#### 雇用保険の被保険者でない外国人の場合

##### ●届出事項

- ①氏名 ②在留資格 ③在留期限
- ④生年月日 ⑤性別 ⑥国籍
- ⑦資格外活動の許可の有無 ※

※⑦については雇入れ時の届出事項

##### ●届出方法

届出様式に、①～⑦までの届出事項を記載して届け出してください。届出様式はハローワークの窓口でお配りしているほか、ホームページからダウンロードすることもできます。

##### ●届出先公共職業安定所

当該外国人が勤務する事業所施設（店舗、工場等）の住所を管轄するハローワーク。

##### ●届出期限

雇入れ、離職の場合ともに翌月末日まで。

※外国人の方を雇い入れる際には、就労が認められるかどうかを確認してください。

<http://www2.mhlw.go.jp/topics/seido/anteikyoku/gairou/980908gai01.htm>

# 記載事項の確認方法

## 外国人登録証明書



## 上陸許可証印



## 資格外活動許可書

⑦ 資格外活動許可書	
許可番号	号
1 国籍	2 氏名
3 性別 男・女	4 生年月日 年 月 日
5 日本における居住地	
6 旅券(番号)	年 月 日
7 上陸(在留)許可年月日	年 月 日
8 現に有する在留資格	在留期間 在留期間満了日 年 月 日
9 外国人登録証明書番号	
10 現在の在留活動の内容(受け入れ機関がある場合にはその名称)	
11 新たに許可された活動の内容	
12 許可の期限	年 月 日 まで
出入国管理及び難民認定法第19条第2項の規定に基づき、上記の活動内容に従事することを許します。	
ただし、上記の活動を行う際は、本許可書を携帯しなければなりません。	
年 月 日	入国管理局長

### ① 氏名

日常生活で使用している通称名ではなく、必ず**本名**を記入してください。

外国人登録証明書の「(1)氏名」欄には、姓、名、ミドルネームの順で記載されています。3つ目以降に記載されているものはすべてミドルネームです。

### ② 在留資格

外国人登録証明書の「(10)在留の資格」又は旅券(パスポート)面の上陸許可証印に記載されたとおりの内容を記入してください。

在留資格が「特定活動」の場合には、その特定活動が「技能実習」「ワーキングホリデー」「EPA」「その他」のいずれであるかが分かるよう、届出用紙の在留資格記載欄に「特定活動(技能実習)」などと記載してください。

### ③ 在留期限

外国人登録証明書の「(11)在留期限」欄に記載された日付又は旅券面の上陸許可証印に記載されたとおりの内容を記入してください。なお、外国人登録証明書には「次回確認(切替)申請期間」が赤字で記載されていますが、これは在留期限ではありませんので、お間違えのないようご注意ください。

### ④ 生年月日

### ⑤ 性別

### ⑥ 国籍

外国人登録証明書又は旅券(パスポート)面の該当箇所を転記してください。

### ⑦ 資格外活動許可の有無

資格外活動許可を得て就労する外国人の場合は、資格外活動許可書等で資格外活動許可の有無、許可の期限、許可されている活動の内容をご確認ください。

## Q&A

Q : 雇入れの際、氏名や言語などから、外国人であるとは判断できず、在留資格等の確認・届出をしなかった場合、どうなりますか。

A : 在留資格等の確認は、雇い入れようとする外国人について、通常の注意力をもって、その方が外国人であると判断できる場合に行ってください。氏名や言語から、その方が外国人であることが一般的に明らかでないケースであれば、確認・届出をしなかったからといって、法違反を問われることはありません。

Q : 通常外国人であると判断できる場合に、在留資格等を確認し届け出なかった場合、罰則の対象になりますか。  
A : 指導、勧告等の対象になるとともに、30万円以下の罰金の対象とされています。

Q : 雇用保険の被保険者とならない短期のアルバイトとして雇い入れた外国人が、届出期限前に離職した場合、雇入れと離職の届出をまとめて行うことはできますか。

A : まとめて行うことが可能です。様式中に、雇入れ日と離職日の双方を記載して届け出してください。

Q : 届出期限内に同一の外国人を何度か雇い入れた場合、複数回にわたる雇入れ・離職をまとめて届け出ることはできますか。

A : まとめて行うことが可能です。届出様式は、雇入れ・離職日を複数記載できるようになっていますので、それぞれの雇入れ・離職日を記載して提出してください。

Q : 留学生が行うアルバイトも届出の対象となりますか。

A : 対象となります。届出に当たっては、資格外活動の許可を得ていることも確認してください。

# 日系人に対する機動的な雇用対策とその実施結果について

## ( I 日系人を巡る雇用情勢について )

- 平成20年秋に発生した経済危機の下、派遣・請負等の不安定な雇用形態にある外国人労働者の解雇・雇止めが相次ぎ、多数の方が日系人集住地域のハローワークに支援を求めて来所。
  - ・日系人集住地域の拠点ハローワークの外国人雇用サービスコーナーにおける新規求職者  
(ピーク時)平成21年1月～3月 14,760人(前年同期の約13倍)
- また、日本語能力の不足や我が国の雇用慣行の不案内に加え、職務経験も十分ではないため、いったん離職した場合には、再就職は極めて厳しい。

## ( II これまでの雇用施策 )

外国人雇用状況届出制度の履行確保の徹底、雇用情勢の的確な把握による、  
①雇用管理の改善に向けた事業主指導、  
②離職した外国人への再就職支援(大量離職のあった事業主・地域を重点的)を実施

## ( III 平成20年秋に発生した経済危機を受けた取組 )

- (1) 集住地域の市町村と連携したワンストップサービスコーナーの立上げ(浜松市、太田市など全国32カ所で開設(22年4月1日現在)
- (2) 日系人が特に多い地域には、新たな外国人専門の相談・援助センターを設置(浜松、豊橋、刈谷)
- (3) 今回の雇用対策により拡充された再就職支援や雇用維持のための各種事業(例: 試行雇用奨励金、雇用調整金助成金)や住宅確保支援策を外国人の支援に活用

## ( IV 21年度の取組 )

### 通訳・相談員の配置増など、機動的な相談・支援機能の強化

- (1) 通訳配置所数: 20年度 73か所 → 21年度 126か所(約1.7倍)
- (2) 通訳配置時間: 20年度 712時間／週 → 21年度 4,698時間／週(約6.6倍)
- (3) 外国人専門相談員の配置状況: 20年度 11人 → 21年度 197人(約18倍)
  - ・日系人集住地域の拠点ハローワークの外国人雇用サービスコーナーにおける相談件数実績  
(20年度)平成20年4月～平成21年3月 67,097件 → (21年度)平成21年4月～平成22年2月 169,117件(約2.5倍)

### 将来的にも日本で安定して働くよう、日本語能力向上等を図る就労準備研修を実施

- ・全国60地域344コース 21年度の延べ受講者数6,298人  
※研修の実施は財団法人日本国際協力センター(JICE)が担当
  - ・日本語コミュニケーション能力、労働条件、雇用慣行、労働・社会保険制度等の理解等を目的とした研修を実施(実施期間3か月間程度)。
  - ・研修修了後は、就職のほか、公共職業訓練等のより高度な訓練に移行も(訓練期間中は訓練延長給付を支給)。

### 帰国を希望する日系人に対する、家族分を含めた帰国支援金の支給(平成22年3月をもって終了)

帰国支援申請者数: 約2.2万人

## ( V 22年度の取組 )

日系人求職者の再就職をとりまく環境は依然として厳しく、前年度と同規模で支援を行います。

- 通訳・相談員・ワンストップサービスコーナーの設置・配置
  - (1) 通訳配置所数: 22年度 124か所
  - (2) 通訳配置時間: 22年度 5,098時間／週
  - (3) 外国人専門相談員の配置状況: 22年度 197人
- 日本語能力向上等を図る就労準備研修の実施(5,000人以上規模)

# ハローワークを中心とした日系人向け相談・支援機能の強化

平成20年4月1日現在

通訳:712時間／週  
相談員:11人

うち拠点ハローワーク9か所  
通訳:128時間／週  
相談員:11人

平成21年7月1日現在

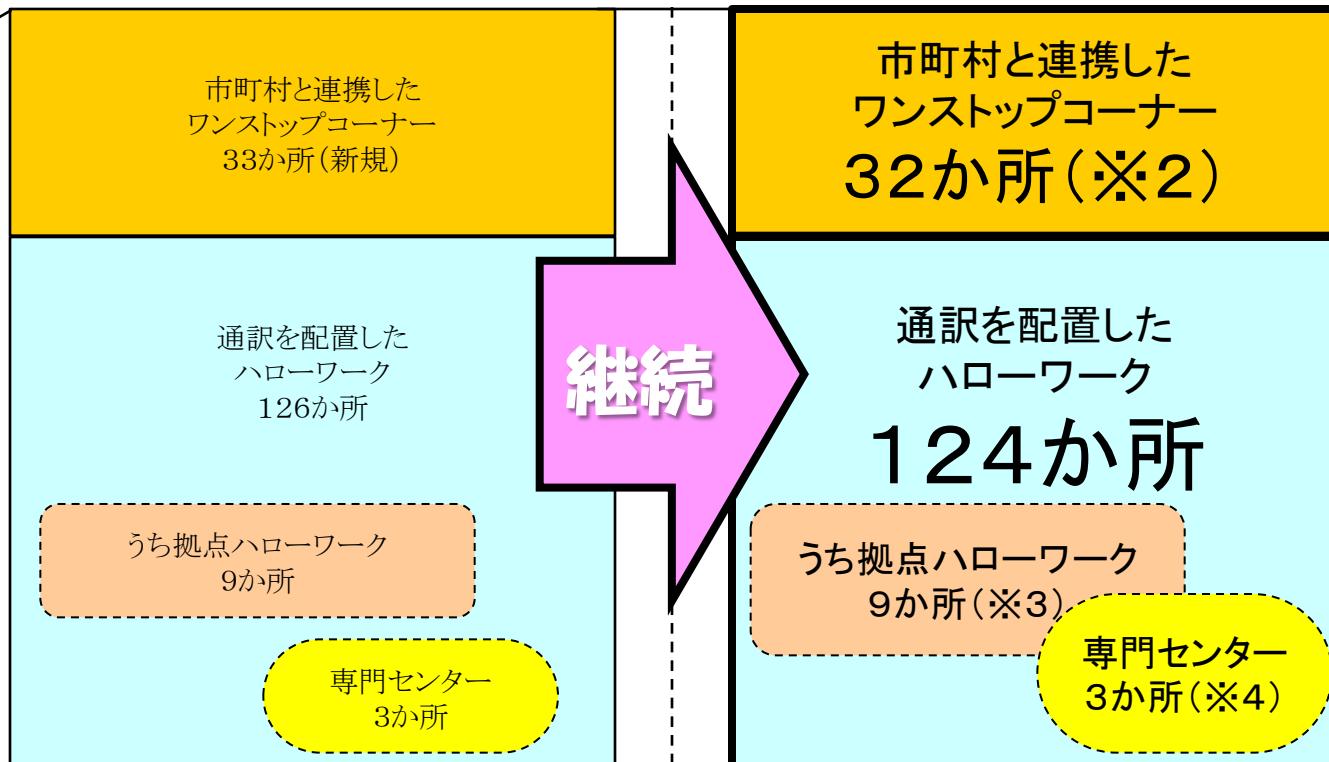
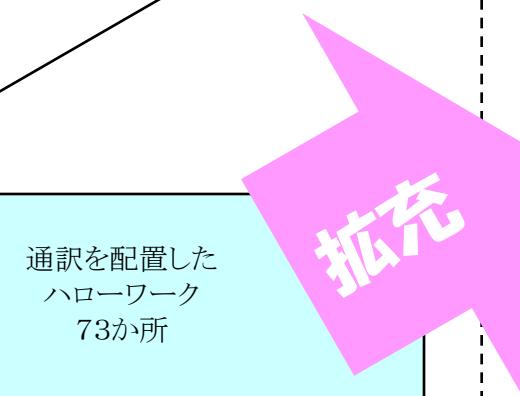
通訳:4,698時間／週  
相談員:197人

うち拠点ハローワーク9か所  
通訳:807時間／週  
相談員:15人

平成22年4月1日現在

通訳:5,098時間／週  
相談員:197人(※1)

うち拠点ハローワーク9か所  
通訳:808時間／週  
相談員:15人



※1 ポルトガル語・スペイン語の通訳が配置されているハローワークにおける、これらの言語に係る通訳及び日系人の就職支援を担当する相談員の状況。（平成22年度は配賦ベース）

※2 日系人集住地域を中心として、地元市町村と連携した相談コーナーに、ハローワークから通訳及び相談員を派遣している。

※3 太田所、松本所、大垣所、美濃加茂所、浜松所、豊橋所、豊田所、刈谷所、四日市所

※4 1月21日に静岡局浜松所、2月23日に愛知局豊橋所・刈谷所において設置。



Programa Consignado por el Ministerio de Salud, Trabajo y Bienestar Social

Projeto Consignado pelo Ministério da Saúde, Trabalho e Bem Estar Social

# A los Descendientes Japoneses que Buscan un Trabajo en Japón

Tenemos planeado realizar un curso de capacitación destinado a los descendientes japoneses que buscan un empleo en Japón, para que puedan conseguir un nuevo trabajo cuanto antes, adquiriendo un buen nivel de japonés y los conocimientos y habilidades necesarios para trabajar en Japón!

## Para Todos os Descendentes Japoneses à Procura de Emprego no Japão

Oferecemos um curso para os descendentes japoneses à procura de emprego no Japão, a fim de que possam adquirir os conhecimentos da língua japonesa e das habilidades necessárias para se trabalhar no Japão, e assim conseguir um novo emprego logo.

**Costo:Gratis**

Duración del curso  
3 meses aproximadamente

**Custo:Gratuito**

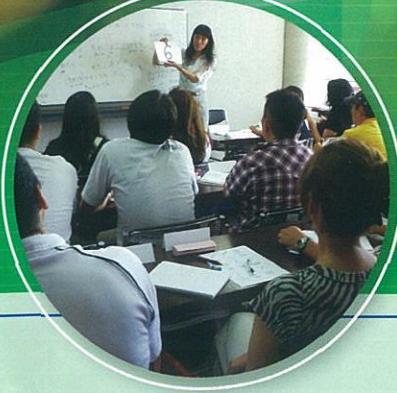
Duração do Curso  
3 meses aproximadamente

Año Fiscal 2010

## Curso de Capacitación Preparatoria Laboral para Descendientes Japoneses

Ano Fiscal 2010

## Curso Preparatório para Recolocação Profissional aos Descendentes Japoneses



Organizado por : **JICE**

<http://sv2.jice.org/>

# Curso de Capacitación Preparatoria Laboral para Descendientes Japoneses

# P&R Respuestas Preguntas

**P1** ¿Se necesita el costo del curso?

► El curso es **gratis** y los libros de texto se entregan de forma gratuita también. (No obstante, los gastos de transporte deben ser cubiertos por los participantes del curso.)

**P2** ¿Cuánto dura un curso?

► Dura unos **3 meses**. Sin embargo la duración cambia según los lugares y el número de curso.

**P3** ¿Cualquier persona puede someterse al curso?



► Las personas que pueden participar en él son las siguientes:

- La persona con nacionalidad de países sudamericanos tales como Brasil, Perú, entre otros, cuyo estatus de residencia es: "Cónyuge o hijo de japonés", "Residente permanente", "Cónyuge o hijo de residente permanente" y "Residente fijo" por regla general.  
\*Consúltennos aquellos que no tengan nacionalidad de los citados países.
- La persona con dificultad de encontrar un trabajo estable por falta de conocimientos sobre el idioma japonés, la forma de trabajar en Japón y la legislación japonesa, aunque quiera conseguir un nuevo empleo cuanto antes.
- O la persona que quiere adquirir los conocimientos y habilidades antes descritos.

**P4** Estoy trabajando temporalmente por el día, pero quiero conseguir un empleo más estable estudiando japonés. ¿Puedo participar en el curso?

► Hay **cursos de fin de semana y de noche**, así que se puede optar entre ellos, al trabajar temporalmente.

**P5** ¿Dónde se realizan los cursos?

JICE

search

► En Aichi, Chiba, Gifu, Gunma, Hiroshima, Hyogo, Ibaraki, Ishikawa, Kanagawa, Mie, Miyagi, Nagano, Saitama, Shiga, Shizuoka, Tochigi, Toyama y Yamanashi.

\*Para el detalle de cada curso de estas áreas, visite la página web de JICE !

**P6** ¿En qué oficina se puede hacer la inscripción para el curso?

► Presente el formulario de inscripción a la Oficina Pública de Empleo (Hello Work).

**P7** ¿Cuáles son los temas cubiertos por el curso?



► Los temas son:

- **Clase de japonés:** adquirir un nivel de japonés necesario para colocarse laboralmente y trabajar en Japón.
- Claves de la entrevista
- Forma de llenar el currículum vitae
- Charla para práctica de trabajo: aprender sobre **la forma de trabajar en Japón y las leyes japonesas**.
- Consejo para quien procura trabajar
- Práctica y visita al lugar de trabajo

**P8** ¿Las charlas se realizan en japonés?

► No se preocupe aunque no entienda japonés. **El profesor profesional de idioma japonés** explica japonés de una manera fácil de entender. **El personal que habla portugués/pañol presta apoyo** a los participantes en el curso. Así mismo, se desarrollan las charlas de los profesionales **con interpretación** en el consejo para quien procura trabajar y en la charla para práctica de trabajo.

**P9** ¿Cuáles son los niveles de japonés de los que dispone la clase de japonés?

► Hay **clases formadas según los niveles** tales como Introducción y Básico, etc. Se puede adquirir un japonés práctico de **tal nivel que corresponde al criterio de aprobación de la prueba de competencia en lengua japonesa**. Así como también, hay **clases especializadas para aquellos que se someterán a la escuela de capacitación vocacional**.

**P10** ¿Se puede certificar que uno ha completado este curso para gestionar el empleo?

► Se entrega el certificado a los que han concluido el curso.

**P11** Quiero conocer otros lugares de trabajo, dado que he trabajado sólo en las fábricas hasta ahora.

► Hay **práctica y visita al lugar de trabajo** en el curso para conocer físicamente lugares de trabajo y capacidades requeridas en ellos.

# Curso Preparatório para Recolocação Profissional aos Descendentes Japoneses

# Q&R Respostas Questões

**Q1** Há alguma despesa necessária para participar do curso?

► O curso é **gratuito**. Os textos também são distribuídos **gratuitamente**. (Porém, as despesas de transporte ficam por conta do participante.)

**Q2** Qual a duração do curso?

► Geralmente a duração é de **cerca de 3 meses**, mas varia de acordo com o local e a classe.

**Q3** Qualquer pessoa pode participar do curso?

► O público-alvo são os seguintes:

- Pessoas que, por via de regra, possuem nacionalidade sul-americana tais como brasileiros e peruanos, e cuja qualificação de permanência seja de "Cônjugue ou filho de japonês", "Residente permanente", "Cônjugue ou filho do residente permanente", "Residente de longa permanência".

\*Favor consultar se o seu país de origem não for da América do Sul.

- Pessoas que gostariam de trabalhar logo, mas que por falta de conhecimento da língua japonesa, do modo de trabalho japonês e das leis japonesas possuem dificuldade de encontrar emprego estável.

- Pessoas que gostariam de obter os conhecimentos e habilidades acima.

**Q4** Trabalho em tempo parcial durante o dia, mas gostaria de estudar a língua japonesa e obter emprego estável. Posso participar do curso?

► Oferecemos cursos aos **sábados, domingos e à noite** também, portanto é possível participar do curso mesmo trabalhando em tempo parcial.

**Q5** Quais os locais em que o curso é realizado?

JICE

search

► Os locais são: Aichi · Chiba · Gifu · Gunma · Hiroshima · Hyogo · Ibaraki · Ishikawa · Kanagawa · Mie · Miyagi · Nagano · Saitama · Shiga · Shizuoka · Tochigi · Toyama · Yamanashi.

\*Checar o homepage da JICE para obter informações sobre os cursos de cada local !

**Q6** Gostaria de participar do curso. Onde devo fazer a inscrição?

► O formulário de inscrição deve ser entregue nas **Agências Públicas de Emprego (Hello Work)**.

**Q7** O que podemos aprender no curso?

► O conteúdo do curso é o seguinte:

- **Curso de Japonês** : estudar o japonês necessário para buscar emprego e trabalhar no Japão.
- Como se preparar para uma entrevista de emprego.
- Como escrever um currículum-vitae.
- Palestras sobre emprego : adquirir conhecimentos sobre o **modo de trabalho no Japão** e as **leis japonesas**.
- **Conselhos para quem procura trabalho**.
- **Visitas e experiências no local de trabalho**.

**Q8** As aulas são realizadas em japonês?

► Não se preocupe se você não entende o japonês. **Professores profissionais da língua japonesa** ensinam de forma clara e fácil de se entender. Também, profissionais que falam **português e/ou espanhol** estarão à sua disposição para **dar suporte ao curso**. Além disso, os "Conselhos para quem procura trabalho" e as "Palestras sobre emprego" são realizadas por professores especialistas com a presença de **intérprete**.

**Q9** Qual o nível da língua japonesa que poderemos aprender no curso?

► São oferecidos cursos com **classes de diferentes níveis**, tais como nível Introdutório, Básico, etc. É possível aprender o japonês prático do **nível do critério de aprovação do teste de proficiência da língua japonesa**. E também, há **classes especializadas para se preparar para o treinamento vocacional**.

**Q10** Ao procurar emprego, é possível apresentar uma certificação de participação do curso?

► Para as pessoas que concluírem o curso, será entregue o **certificado de conclusão do curso**.

**Q11** Estou preocupado pois trabalhei somente em fábricas, até o momento. Gostaria de conhecer outros locais de trabalho.

► No curso são realizadas **visitas e experiências em vários locais de trabalho**, onde você poderá verificar as condições reais do trabalho e os requisitos necessários para se trabalhar.



## Voces de los participantes

- Quiero trabajar en los cuidados de perros después de aprender hasta tal nivel que podré servir fuera de las fábricas. Espero que este curso constituya un espacio donde se puede estudiar sin perder el interés.
- Ahora puedo leer y escribir Hiragana y Katakana , a consecuencia de haber participado anteriormente en el curso, a pesar de que me falta aprender más. Quiero mejorar mis capacidades de conversar en japonés y de entender japonés en esta oportunidad. Espero que me enseñen la forma más simple y fácil de memorizar.
- He aprendido sobre la costumbre y otros aspectos de Japón además del idioma, lo que me ha fomentado una gran confianza en mí mismo para vivir en Japón de ahora en adelante. Quiero someterme al siguiente curso si hay otra oportunidad.
- Llevo diez años desde que llegué a Japón. ... Empecé a buscar la clase de japonés pero el alto costo de la clase me dificultó. Decidí estudiar por mí mismo; memorizando nuevas palabras encontradas a través de la televisión y apuntando los Kanji que estaban escritos en cualquier sitio. Aunque lograra entender poco a poco las conversaciones simples, no pude hablar en japonés por la desconfianza en mí mismo al surgir varias dudas en mi mente. Participé en el "Curso de Capacitación Preparatoria Laboral para Descendientes Japoneses" organizado este año. La mayoría de mis compañeros deseaban aprender japonés como yo. Nos esforzamos por estudiar, bien concentrados desde el inicio hasta el final de todas las sesiones, dado que habíamos estado buscando esa oportunidad por varios años. Nos ayudó bastante lo que aprendimos en el curso: no solamente la gramática del japonés con Kanji sino también las leyes laborales, la forma de llenar el currículum vitae y los modales en entrevista. Además, todos los profesores eran muy atentos, cuyas explicaciones eran fáciles de entender, lo que me condujo a disfrutar estudiando japonés. No tengo palabras para agradecer.
- Aprendí japonés de forma natural a través de la vida cotidiana, así que me equivoco varias veces al decir palabras. Quería ir a la escuela de japonés, pero no pude por el trabajo que tenía. Desde los finales de 2008, la economía japonesa empezó a declinar, por lo que muchos perdieron el empleo. Entrando en plena recesión, la dificultad para encontrar un nuevo empleo recayó sobre los que no podían comunicar en japonés. Cuando visité Hello Work, me informé del "Curso de Capacitación Preparatoria Laboral para Descendientes Japoneses" y me inscribí en él enseguida. Estudiamos diario por dos meses aproximadamente, adquiriendo nuevas palabras y Kanji, la forma de llenar el currículum vitae, las claves de la entrevista, entre otros. Logramos entender las leyes y el seguro de salud que antes no conocíamos. Los profesores nos dieron explicaciones accesibles a entender. Pasé muy bien esos días, aunque fueran duros los estudios. Yo con los compañeros de curso nos sostuvimos mutuamente para salir adelante. Lo que aprendí me ayudó a superarme considerablemente y estoy seguro de que lo aprendido podrá ser aprovechado en el nuevo trabajo.

## ¿Cómo están los ex participantes del curso?

### ● Caso de un brasileño treintañero

Un ex participante (brasileño) del "Curso de Capacitación Preparatoria Laboral para Descendientes Japoneses" realizado en el Municipio de Komatsu, está estudiando en el curso de capacitación vocacional "operación técnica" (relativa al maquinado con CAD/CAM y torno CNC con una duración de seis meses) organizado por la oficina pública, el cual está en ejecución en "Politec Center Ishikawa", el centro público de desarrollo de recursos humanos (escuela de capacitación vocacional) de la Organización de Desarrollo de Empleo y Recursos Humanos del Japón, situado en Kanazawa, Ishikawa. Esta noticia ha sido divulgada por el diario local "Kitaguni Shinbun" como caso exitoso de un descendiente japonés que obtuvo el permiso de participar en un curso destinado a los japoneses, al superar las desventajas ocasionadas por el idioma.

### ● Casos de los cinco hombres de veintiañeros a cincuentones

Ingresaron al curso de capacitación vocacional "Moldeado de Metales para los Extranjeros" con un cupo de 10 personas y una duración de seis meses, realizado en la Escuela de Capacitación Técnica Vocacional Avanzada de Tsu de la Prefectura de Mie. Por la colaboración de la autoridad prefectural, los cursillistas en cuestión pudieron someterse a esta capacitación vocacional, asistiendo al "Curso de Capacitación Preparatoria Laboral para Descendientes Japoneses." Ellos fueron altamente evaluados por la prefectura, al completar la capacitación vocacional con aplicación y diligencia.

## Comentário dos participantes

- Gostaria de aprender o japonês ao nível de poder trabalhar em outros locais além das fábricas. Particularmente, tenho interesse em trabalhar em algum lugar onde eu possa cuidar de cães. Também espero que o curso continue motivando os estudos.
- Participei do curso anteriormente, e como resultado, aprendi a ler e escrever em hiragana e katakana. Porém, acho que ainda não é suficiente. Espero aproveitar esta oportunidade para aprimorar a conversação em japonês e a capacidade de compreensão. Gostaria de aprender formas de memorizar mais facilmente.
- Pude aprender não só a língua japonesa, mas também os costumes japoneses e muitas outras coisas. Adquiri maior confiança para viver no Japão de agora em diante. Espero poder participar novamente caso haja oportunidade.
- Já fazem 10 anos desde que cheguei ao Japão. ... Procurei por cursos de japonês, mas devido ao custo elevado, estavam fora do meu alcance. Achei que deveria fazer algo sozinha, e estudei checando novas palavras ao assistir televisão, e anotando os kanjis escritos em vários lugares. Aos poucos, passei a compreender diálogos simples, mas ainda restavam muitas dúvidas na minha cabeça, por isso não conseguia me comunicar bem por falta de confiança no meu japonês. Finalmente, neste ano, pude participar do "Curso Preparatório para Recolocação Profissional aos Descendentes Japoneses" onde haviam pessoas que gostariam de estudar japonês assim como eu. Como todos estavam à procura de uma chance como esta durante anos, estudavam assiduamente, acompanhando as aulas todos os dias do começo ao fim. O curso nos ajudou bastante pois aprendemos, não somente a gramática japonesa e o kanji, mas também as leis trabalhistas, formas de escrever um currículum-vitae, e modos de se comportar em uma entrevista. Além disso, os professores foram amáveis e fáceis de se entender, o que tornou o estudo muito mais prazeroso. Não tenho palavras para expressar a minha gratidão.
- Eu aprendi o japonês naturalmente, no cotidiano. Por isso, há muitas palavras que falo incorretamente. Queria estudar o japonês na escola, mas eu não tinha folga no emprego. No final de 2008, a economia japonesa entrou em declínio. Muitas pessoas perderam o emprego. Num período de recessão como este, ficou difícil de se encontrar um novo emprego para as pessoas que não leem, escrevem e não conseguem se comunicar em japonês. Quando fui ao Hellowork, soube do "Curso Preparatório para Recolocação Profissional aos Descendentes Japoneses", e me inscrevi imediatamente. Estudei quase todos os dias, por volta de 2 meses. Nós aprendemos muitas coisas, novas palavras e kanjis, como escrever um currículum-vitae, e como se comportar em uma entrevista. E também, passamos a conhecer assuntos que não sabíamos até então, como as leis e o seguro de saúde. Os professores ensinaram de uma forma que pudemos compreender facilmente. Mesmo nas aulas difíceis, era muito divertido estudar todos os dias. Os colegas de classe ajudavam uns aos outros. O que eu aprendi serviu para o meu desenvolvimento. Acredito que será útil também em um novo trabalho.

## Como estão as pessoas que concluíram o curso?

### ● Exemplo: homem, brasileiro, 30 anos

Participante que conluiu o "Curso Preparatório para Recolocação Profissional aos Descendentes Japoneses" organizado em Komatsu-shi, está frequentando o treinamento vocacional público do "Departamento de Operações Técnicas" (treinamento de 6 meses sobre usinagem, tais como CAD/CAM, torno mecânico, etc.) que está sendo realizado atualmente na "Polytech Center Ishikawa", que é um estabelecimento público de desenvolvimento de recursos humanos da Organização de Desenvolvimento de Emprego e Recursos Humanos do Japão em Ishikawa-ken, Kanazawa-shi. Este caso foi destaque no jornal local Hokkoku Shimbun, pelo fato de ter sido aprovada a participação de um estrangeiro num curso voltado a japoneses, superando-se a desvantagem do conhecimento da língua.

### ● Exemplo: 5 homens de 20 a 50 anos

Participaram do treinamento vocacional - "Curso de Metalurgia voltado a Estrangeiros", com vagas para 10 pessoas e duração de 6 meses, realizado na Escola de Treinamento Técnico Vocacional Avançado de Tsu em Mie-ken. Graças ao apoio de Mie-ken, os referidos participantes puderam participar do treinamento vocacional frequentando ao mesmo tempo o "Curso Preparatório para Recolocação Profissional aos Descendentes Japoneses." O esforço dos participantes em concluírem o curso foi altamente reconhecido pela Mie-ken.



## **LUIZ AUGUSTO DE CASTRO NEVES**

**Embajador de Brasil en Japón**

Brasileras y brasileros

Aprovechen la oportunidad que JICE está ofreciendo a la comunidad brasilera residente en Japón. El "Programa de Capacitación Preparatoria para el Empleo de los Descendientes Japoneses" podrá contribuir para mejorar su vida. La cualificación vocacional -conocimientos necesarios para la colocación laboral y habilidades en el idioma japonés- que se adquieren a través de este programa es fundamental para su futuro tanto en el ámbito laboral como personal. Por lo tanto, no pierdan esta oportunidad. ¡Gambatte kudasai!

## **LUIZ AUGUSTO DE CASTRO NEVES**

**Embaixador do Brasil no Japão**

Brasileiras e brasileiros,

*Aproveitem a oportunidade que a JICE está oferecendo a comunidade brasileira residente no Japão. O "Curso Preparatório para Recolocação Profissional dos Descendentes Japoneses" poderá contribuir para melhorar sua vida. A qualificação profissional é fundamental para o progresso funcional e pessoal de qualquer indivíduo. Portanto, não desperdem essa chance.*

*Gambatte kudasai!*



## **Masato Ninomiya**

**presidente de CIATE**

Me gustaría enviar este mensaje de felicitación al Centro de Cooperación Internacional del Japón (JICE) por implementar este año su segunda versión del Programa de Capacitación Preparatoria para el Empleo de los Descendientes Japoneses para los trabajadores Nikkeis residentes en Japón. En nombre del CIATE, que presta servicios semejantes en Brasil para quienes preparan para trabajar en Japón, quisiera felicitar y rendir mi más sincero homenaje al JICE.

El CIATE viene trabajando a lo largo de estos años, convencido de la necesidad de enseñar que el conocimiento básico del idioma japonés es imprescindible para quienes desean trabajar en Japón. Sin embargo, parece que con la crisis económica que causó muchos desempleos y registró un gran número de personas que tenían que volver a Brasil, finalmente todos entendieron la necesidad de conocer el idioma. Además, el CIATE imparte clases sobre distintos temas de Japón como legislación, seguro social, tributación, educación escolar, usos y costumbres, auto ayuda, entre otros.

El programa ofrecido por el JICE es más completo que el de CIATE y espero que asistan el mayor número de brasileños residentes en Japón a los cursos organizados por el JICE, principalmente los de japonés, para poder profundizar sus conocimientos sobre Japón.

Por último, quiero expresar mi deseo de que podamos continuar estrechando nuestros lazos de cooperación entre el CIATE y el JICE.

## **Masato Ninomiya**

**Presidente do CIATE**

*Tendo tomado conhecimento de que o Japan International Cooperation Center (JICE) estará realizando por segundo ano consecutivo, os treinamentos preparatórios dos nikkeis para o trabalho no Japão, gostaria de manifestar os meus profundos respeitos pelas ações do JICE em prol dos nossos patrícios.*

*O Centro de Informação e Apoio ao Trabalhador no Exterior (CIATE) vem pregando ao longo destes anos, a necessidade dos brasileiros seguirem para o Japão com o mínimo de conhecimento da língua daquele país. Com a última crise econômica que ocorreu no Japão, parece que finalmente, os patrícios se conscientizaram desta necessidade, de tal forma que tem aumentado muito o número de pessoas que procuram o CIATE para assistirem as aulas de japonês, e também outras aulas sobre o conhecimentos de Direito, Previdência Social, Tributação, Educação Escolar das Crianças, Usos e Costumes, Auto-ajuda etc.*

*Tenho conhecimento de que o programa oferecido pelo JICE é ainda mais completo que o do CIATE, e assim, gostaria de aproveitar a oportunidade para sugerir que os brasileiros residentes no Japão procurem os cursos oferecidos por JICE nas diversas cidades com maior concentração de patrícios, principalmente os cursos de japonês, para poderem aprofundar cada vez mais, os seus conhecimentos sobre o Japão.*

*Faço votos de que a cooperação entre o CIATE e o JICE possa se estreitar cada vez mais, em benefício de todos os brasileiros residentes no Japão e os que planejam ir trabalhar neste país.*





## Juan Carlos Capuñay

Embajador del Perú en Japón

Como representante del Gobierno del Perú en Japón, aplaudo el compromiso asumido por el Ministerio de Salud, Trabajo y Bienestar y el Centro de Cooperación Internacional del Japón (JICE) de continuar con los cursos de capacitación laboral para extranjeros. El año pasado casi dos mil peruanos de origen japonés fueron beneficiados con este entrenamiento que permitió afianzar sus capacidades y ampliar sus posibilidades de desarrollo profesional y personal, transformándolos en sujetos que actualmente aportan directamente al desarrollo socio-económico y tecnológico tanto del Perú como del Japón.

## Juan Carlos Capuñay

Embaixador do Perú no Japão

Como representante do Governo do Peru no Japão, aplaudo o compromisso assumido pelo Ministério da Saúde, Trabalho e Bem Estar Social, e o Centro de Cooperação Internacional do Japão (JICE) de continuar com os cursos de capacitação profissional para estrangeiros. No ano passado, quase dois mil peruanos de origem japonesa foram beneficiados com este treinamento que permitiu melhorar suas capacidades e ampliar suas possibilidades de desenvolvimento profissional e pessoal, transformando-os em indivíduos que atualmente contribuem diretamente ao desenvolvimento sócio-econômico e tecnológico tanto do Peru como do Japão.



## Alberto Matsumoto

Consultor & Traductor Jurídico

Que el gobierno de Japón esté implementando estos programas de idioma japonés para los trabajadores latinos nikkei de Japón, para mejorar las oportunidades de empleo y de arraigo en la sociedad, es una gran oportunidad al que debemos agradecer y aprovecharlos mejor. Y desde luego, el esfuerzo que todos ustedes realizan en aprender el idioma y las pautas sociales es digno de admiración y respeto. El aprendizaje del idioma les permitirá abrir posibilidades en la capacitación técnica y fomentará una mayor integración en la sociedad local y con sus vecinos japoneses. Y otra cosa muy importante, podrán comunicarse mejor con sus hijos que van a las escuelas japonesas y estoy seguro que podrán descubrir las virtudes que aún no conocen de esta sociedad. Los japoneses que emigraron a América Latina, muchos de ellos sus ancestros, también se abrieron camino en sus profesiones y emprendimientos a través de sus hijos que fueron los canales de comunicación y de comprensión entre ambas culturas, y así pudieron forjar una historia de más de 100 años de amistad y cooperación. ¡A seguir adelante!

## Alberto Matsumoto

Consultor & Tradutor Jurídico

O governo do Japão está implementando estes programas de idioma japonês para os trabalhadores latinos nikkei do Japão, para melhorar as oportunidades de emprego e enraizamento na sociedade, o que é uma grande oportunidade que devemos agradecer e aproveitar melhor. E claro, o esforço que todos vocês realizaram para aprender o idioma e os padrões sociais é digno de admiração e respeito. A aprendizagem do idioma lhes permitirá abrir oportunidades de capacitação técnica e promoverá uma maior integração na sociedade local e com seus vizinhos japoneses. E outra coisa muito importante, vocês poderão comunicar-se melhor com seus filhos que frequentam escolas japonesas e tenho certeza que poderão descobrir as virtudes que ainda não conhecem desta sociedade. Os japoneses que emigraram para a América Latina, muitos deles seus antepassados, também abriram caminho em suas profissões e empreendimentos através de seus filhos que foram os canais de comunicação e compreensão entre ambas as culturas, e assim puderam construir uma história de mais de 100 anos de amizade e cooperação. Vamos seguir adiante!

## Hisashi Noguchi

Ministerio de Salud, Trabajo y Bienestar Social Agencia de Estabilidad de Empleo

Diretor de Departamento de Políticas de Trabajos Enviados / Temporales, División de Políticas de Empleo para Trabajadores Extranjeros

Actualmente, el mayor problema que tienen los descendientes japoneses para trabajar en Japón es el conocimiento de la lengua japonesa. La falta del conocimiento de la lengua japonesa se convierte en un factor de impedimento para el empleo, lo que refleja la dura situación de desempleo actual. Por otra parte, las condiciones de trabajo se han cambiado significativamente en el proceso de producción de las fábricas donde trabajaron muchos descendientes japoneses, y, aunque la economía se recupere en el futuro, sería una perspectiva muy optimista esperar volver a vivir sin conocimiento de la lengua japonesa, trabajando en los lugares con intérprete y con viviendas garantizadas así como el pasado. Por lo tanto, se hace más necesario aprender bien la lengua japonesa para poder acceder a un trabajo digno en Japón. Esperamos que un gran número de personas aprovechen el "Curso de Capacitación Preparatoria Laboral para Descendientes Japoneses", y que el curso sirva para activar el aprendizaje continuo de la lengua japonesa.

## Hisashi Noguchi

Ministério da Saúde, Trabalho e Bem Estar Social Agência de Estabilidade do Trabalho

Diretor do Departamento de Ações para o Trabalho Terceirizado/Temporário, Divisão de Políticas de Emprego para Trabalhadores Estrangeiros

Atualmente, o maior problema para o emprego de descendentes japoneses no Japão é o conhecimento da língua japonesa. A falta de conhecimento da língua japonesa torna-se um fator de impedimento para o emprego, o que reflete a dura situação de desemprego atual. Além disso, as condições de trabalho mudaram significativamente no processo de produção das fábricas onde a maioria dos descendentes japoneses eram empregados, e mesmo que a economia se recupere futuramente, seria uma perspectiva muito otimista esperar voltar a viver sem o conhecimento da língua japonesa, trabalhando em locais com intérprete e com moradia garantida assim como no passado. Para que os descendentes japoneses possam se empregar no Japão futuramente, é realmente necessário aprender bem a língua japonesa. Esperamos que muitas pessoas aproveitem o "Curso Preparatório para Recolocação Profissional aos Descendentes Japoneses", e que o curso sirva para engatilhar o aprendizado contínuo da língua japonesa.